

大野城市立中学校新制服(標準服)の考え方(基本方針)

大野城市教育委員会

〔新制服の基本コンセプト〕

子ども一人ひとりの個性を大事にする

〔見直しのポイント〕

- 機能性、経済性、多様性、安全性等に優れ、生徒の健康管理に適するとともに、生徒一人ひとりの個性を大事にし、誰もが安心して自分らしく学校生活を送ることができる制服とする。
- 制服はブレザータイプ(ブレザー+スラックス・スカート)とし、市内5中学校で統一の型とする。
- ブレザーは男女共用の型とし、スラックスとスカートは、自分が好きなものを選べるようにする。
- シャツはワイシャツタイプを基本とするが、気候に合わせてポロシャツも選べるようにする。購入については、制服販売店でも販売するが、量販店において同等のものを購入することも可能とする。
- シャツの色は学校ごとに決定することとし、複数色選択できるようにする。
- リボンとネクタイは、学校ごとにデザインを決定し、長袖シャツ着用の際にはリボン・ネクタイを着用することを基本とする。(エコスタイル時期は着用不要)

〔新制服製作に向けた配慮事項〕

- 1 暑さ・寒さへの対応
気温や環境(空調設備等)による寒暖差に対し、着脱や重ね着などにより、生徒自身が対応できるよう配慮されたもの
- 2 動きやすさへの対応
 - ・ 学校生活を送る上で、日々の学習活動などを快適に実施できるよう動きやすさに配慮されたもの
 - ・ 軽い素材のもの
- 3 安全性への対応
 - ・ 衛生的に配慮されたもの
 - ・ 素材(材質)や染料等、人体への害がないもの
 - ・ 事故防止、防犯に配慮されたもの
- 4 多様性への対応
生徒が希望する制服を、気候や性別に関わりなく自由に選択できるよう配慮されたもの
- 5 保護者負担への対応
 - ・ 現在の制服と同程度の価格帯であること
 - ・ 汚れが目立たない色合いであること
 - ・ ノーアイロン、丸洗いができるなど、メンテナンスに負担がかからないこと
 - ・ 全市的に制服のリユースが促進できるもの
- 6 その他
 - ・ 「大野城市らしさ」を表現できるもの

〔具体的事項〕

1 市の制服の範囲

上着及びボトム(スラックス・スカート)とし、長袖シャツ着用時には、リボン・ネクタイの着用を基本とする。(エコスタイル時期はリボン・ネクタイ着用不要)

2 デザイン

- (1) ブレザーは、男女共用型とし、ボタンの付け替えで右・左どちらも対応可とする。
- (2) 男女の表記をなくし、各アイテムを個人の希望で選べるようにする。
- (3) リボン・ネクタイの色・柄については、制服のデザインが決定した後に、各中学校において色及び柄を決定する。

3 機能性

- (1) 家庭での洗濯が可能であること。
- (2) 家庭で洗濯を行っても型崩れしないこと。
- (3) ノーアイロン素材であること。
- (4) 耐久性が高いものであること。
- (5) 動きやすく、着心地が良いものであること。

4 安全性

- (1) 衛生的に配慮され、人体に害のない素材であること。
- (2) 夜間や登下校時の安全に配慮されたものであること。
- (3) 防犯面に配慮されたものであること。
- (4) 感覚過敏への対応が可能であること。

5 経済性

- (1) 現行の制服の販売価格帯に準拠すること。
- (2) 成長(体格)に応じた補整が可能であること。

6 その他

- (1) 現行の制服着用期間(夏服・冬服・合服期間)は撤廃し、一定のルールの中で、生徒自身が気温・体調等を踏まえて選択した制服を着こなすことができるように見直しを行うものとする。
- (2) 家庭の経済的負担に配慮するため、現行の制服が着用できる期間(移行期間)も併せて設定するものとする。

